

全国で進む議会と市民とのコミュニケーション

堺市の学生向け議会報告会

堺市議会が毎年開催している、市民を議場に招いての議会報告会。R4年度の中학생向けに続き、今年1月には高校・大学生向けに開催。若者の意見は率直で、こちらが勉強させられました。この取組を始めた頃(11年前)は市民とのコミュニケーションを図る先進的な取組とされましたが、それも今や昔。全国では次々と新しい取組がなされています。



議場で議員からの報告



委員会室での意見交換

取り入れたい全国の先進事例

早稲田大学マニフェスト研究所が開催する事例発表会に参加してきました。議員自ら町に出て市民にインタビューし、議会広報の記事をつくる埼玉県寄居町。議会の傍聴者が質疑の内容を理解しやすいよう事前に要約ノート

を配り、終了後は質疑がよかったか傍聴者に採点してもらうという北海道鷹栖町。議員が質疑前に解説動画を、終了後に感想動画を撮影してSNSで配信する神奈川県開成町。斬新な取組が多く、大いに参考になりました。



子どもに1000万の予算提案権

子ども議会を作って子どもの意見を聞く自治体も増えています。愛知県新城市は、子ども議会に1000万円の予算(政策)提案権を付与し、その政策を実行。堺市でもせめて子ども政策を議論する審議会の委員に、当事者の子どもを加えるべきです。子どもと言ってもあなどるなかれ。中高生ともなれば、立派に意見できることは堺市の議会報告会でも証明済みです。



鉄炮鍛冶屋敷ミュージアムがオープン 堺区北旅籠町西1-3-22 七道駅徒歩4分

初当選以来、長らく関わってきた鉄炮鍛冶屋敷ミュージアムの整備が完了し、3月3日にオープンしました。感無量です。堺の歴史に触れられる素晴らしい施設です。皆様もぜひ訪ねてみてください。



ご意見をお寄せください！

FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi@fuchigami.info

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

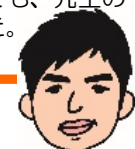
お名前: TEL:

住所:

※匿名でも結構ですが、ご連絡先を頂けましたら、必ずお返事します。

フッチーのつぶやき (編集後記)

私那不登校問題にも真剣に取り組んでいるのは、息子が不登校の当事者だから。その息子が学校で、好きな一文字を背中に書いたハッピーを作りました。自分の名前の一文字や、「夢」などの前向きな文字を選ぶ子が多い中、息子が選んだ好きな一文字は、なんと「家」！そんな息子も小学校を卒業。先生方にはお世話になりました。家好きの息子は、学校が嫌いでも、先生のこと大好きでした。



堺市議会議員 (堺区選出・無所属)

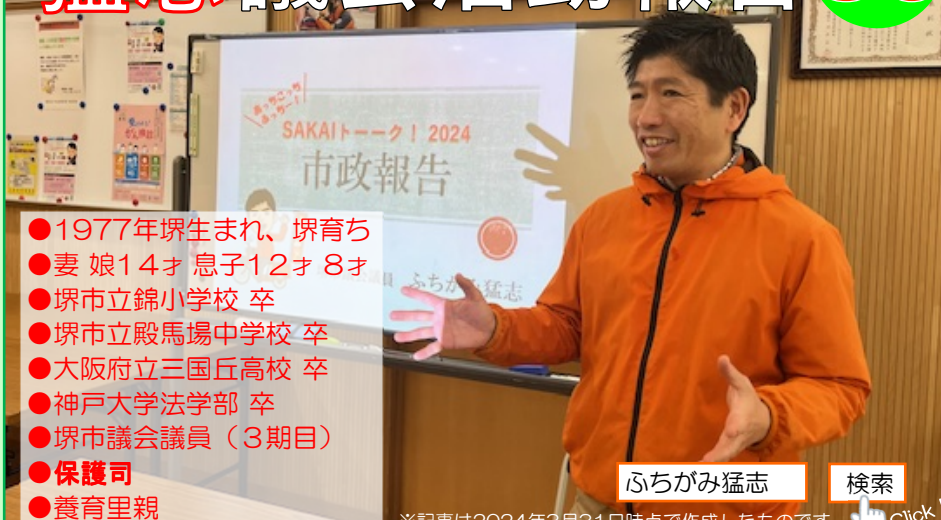
2024春号

ふちがみ猛志 議会活動報告 Vol.36

活動情報発信中！



【ふちがみ猛志市政相談所】
堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX: 072-320-0103



- 1977年堺生まれ、堺育ち
- 妻 娘14才 息子12才 8才
- 堺市立錦小学校 卒
- 堺市立殿馬場中学校 卒
- 大阪府立三国丘高校 卒
- 神戸大学法学部 卒
- 堺市議会議員(3期目)
- 保護司
- 養育里親

※記事は2024年3月31日時点で作成したものです

能登半島地震 息の長い支援を

災害はいつ起こるかわからない。元旦に発災した能登半島地震で、改めてそれを痛感しました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。堺市からも大勢の職員が救助活動(約1ヶ月で終了)や水道復旧、避難所運営等で現地に入り、活躍してくれています。その経験や教訓を、いつか堺で起こる災害への備えに活かさねばなりません。能登の復興には長い年月が必要でしょう。実は私の政治人生のスタートは石川県(での議員秘書)。縁と恩のある石川のため、私も議員として一個人として、息の長い支援に取り組みます。



仲間の議員との募金活動

令和6年度予算が成立

2期目は、市長として一番力が発揮できる時だと言われます。令和6年度予算は、永藤市長が2期目を迎えて最初の予算であり、果たしてどのようなものに

もくじ ぜひ2ページ目以降もご覧ください！

- P2. 注目予算をPickUp!! / 堺区中心部への図書館設置
- P3. 自動運転バスをゴリ押し / スケボーのできる場所を等
- P4. 全国で進む議会と市民とのコミュニケーション

なるか期待していましたが、結果は今ひとつ。相変わらず、市長お気に入りのICT関連事業の中には、自動運転バスを筆頭に、費用対効果の怪しいものが見られます。一方、堺独自の給付型の奨学金などの素晴らしい取り組みもありますが、予算額に思い切りがなく、これでは効果も限定的でしょう。(※中面参照)

堺区全17校区で市政報告座談会

2,3月に堺区の全17校区で市政報告の座談会を開催。新年度予算や私の活動成果について説明しました。政治に関心はなくとも、皆様が納めた税金の使いみちを決めるのは政治の場。その説明は政治家の義務です。ご希望があれば少人数でも個別に開催いたします。



【令和6年度予算の全体規模】

一般会計 4,675億円

福祉や教育、道路整備等、基本的な会計

特別会計 2,610億円

国民健康保険や介護保険等の固定事業の会計

企業会計 881億円

水道事業など公営企業の会計

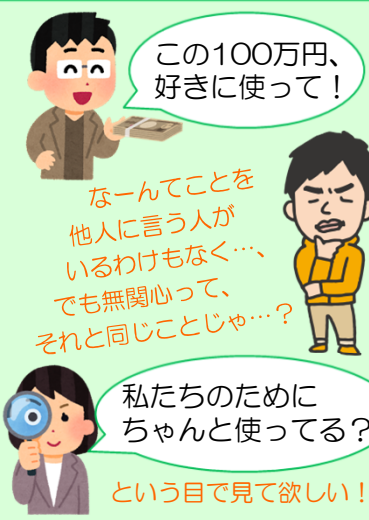
赤ちゃんからお年寄りまで
市民1人あたり約100万円！

総額
8,165億円!!



堺市の予算は 市民1人あたり100万円

と聞くと、その額の大きさが分かります。それを市役所に預けてもらい、その使い道を決めているのが、市長であり議会です。無関心で「お任せ」にせず、ぜひ厳しい目で真に市民のために使われているか、チェックしてください。皆さんにチェックしてもらいやすいよう、私は情報提供に努めます！もちろん、私自身も予算を厳しくチェックしています！



子育て・教育



○ 堺独自の給付型奨学金

進学を断念しない社会へ、返済不要の給付型奨学金は大きな一歩。でも月1万円は少ない。増額求む！

× ネイティブスピーカーを削減

中学でオンライン英会話を実施する代わり、外国人講師の学校派遣は削減。リアルな授業こそ大切に！

× 子どもを万博に2回招待

税金で2回も招待する必要はない！万博の来場者数の目標達成のための動員に過ぎない！



教育の本質的課題である教員不足を解消するための施策が見られなかったのが残念

高齢者



○ 特殊詐欺被害防止の録音機

固定電話用の自動通話録音機1250台を高齢者世帯に無償貸出。犯罪抑止の期待大。台数を増やしたい。

△ がん検診の無償化延長

健康寿命延伸に不可欠の施策。期間限定で延長が繰り返されるが、そろそろ恒久的な施策にしてほしい。



高齢者の健康寿命の延伸は、少子化対策と共に、政治の最重要テーマの一つ。

まちづくり



△ 堺消防署跡地活用

活用方法について民間事業者へ意見聴取。前進するのはいいが、まず意見を聴くべきは市民のはず。

× 自動運転バスの実証実験

2億円かけて実証実験するのに、自動運転バス導入の事業全体の予算すら示せず。（詳細は右ページへ）

× 大阪観光局への負担金

年間8000万円も出しながら、堺にどんな恩恵があるのか示せず。都合のいい財布になっていないか？



場当たりので迷走している。市民ニーズに立脚した、地に足ついた施策を望む。

地域・くらし



○ 動物指導センターの更新

耐震審査未実施の老朽施設だったが建て替えが決まる。動物愛護の拠点として期待。

○ 学校体育館へのエアコン設置

年々猛暑が厳しくなる中、普段の体育・部活動はもちろん、災害時に避難所となった際に不可欠。



間違った財政危機宣言で止まっていたインフラ整備がようやく少しずつ動き出した！

堺区中心部への図書館設置が前進

堺区以外の6区は中心部に「区の図書館(区域館)」があります。堺区は中央図書館があるものの、交通アクセスはよくなく、幅広い資料を収集する中央館と、市民が日常使用する区域館は役割も違います。私は長らく堺区中心部への区域館設置を求めてきました。そしてようやく当局は、老朽化した中央図書館の建て替えにあたり、区域館を都心部に、中央館を大仙公園周辺に分離して設置するのが望ましい旨、答弁しました。堺区図書館設置へ大きな前進です。当局は「都心部」を東西は堺東駅から堺駅、南北は御陵前から綾之町近辺まで

と想定。しかしそこに図書館設置ができる広さの空いた市有地はなく、テナントとして入れる複合ビルも見当たらないとの答弁。いや、一つあります。今年秋に移転する堺消防署の跡地です。まさに堺区のと真ん中。図書館候補地としてどうでしょうか？



バリアフリーとすら言えない中央図書館



予算の見通しを示せぬ自動運転バス

永藤市長が進める堺東・堺駅間への自動運転バス導入等の計画。全体予算は24億円と示されていたのに、来年度の実証実験予算2億円は、それに含まれていないとのこと。また本格導入まで5,6年は実験を繰り返すのに、次年度以降の実験予算は概算すら示せず。市長は「都市ブランド確立」「未来への挑戦」など抽象的な言葉を並べるも、肝心の数字が出てきません。それではさすがに認められないと、実証実験予算を削減する案が可決。

しかし市長は再議(※下記参照)を求め、削減案を封殺。自動運転バス実証実験をゴリ押ししてしまいました。全体予算をちゃんと示して説明すればいいだけなのに、市民の代弁者たる議会の声を、もう少し謙虚に聞き入れてもらいたいものです。無駄な投資にならぬことを願います。



そもそも自動運転バスの導入でまちが活性化するのだろうか？

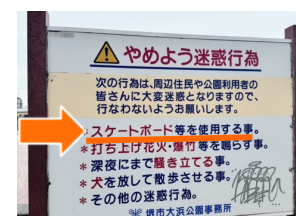


※首長が議会の提案・決定に不服がある時に審議のやり直しを求める制度。通常、議案の可決には1/2以上(過半数)の賛成が必要ですが、再議になった場合は2/3以上の賛成が必要となります(ハードルが上がる)。言い換えれば1/3の反対で議案はつぶされてしまうのです。そのことから再議は「首長の伝家の宝刀」とも呼ばれますが、安易な行使は議会(=民意)軽視と言えるでしょう。

スケートボードができる場所を

堺市スポーツ部はトップ選手を招き、子どもへのスケートボード普及と運動習慣定着を目指すそうです。ところが多くの公園は騒音によりスケボー禁止。市内のスケボーパークは2か所(大泉緑地と原池公園)で、全市の子どもが日常的に利用するには足りません。本来「普及」と「やれる場所の整備」はセットであるべきですが、公園緑地部はスポーツ部の方針を私が指摘するまで知りもしませんで

した(典型的な縦割り!!)。せめて各区1か所、近所や他の公園利用者に迷惑をかけずにスケボーを楽しめる場所を作るよう要望。公園緑地部は「関係部局で連携する」と前向きに答弁しました。



↑迷惑行為としてスケボー禁止の公園は多いが、できる公園は少ない



原池公園(中区)のスケートボードパーク ストリートエリア

堺市の災害支援がショボい！

能登半島地震のような大規模災害では災害救助法が適用され、国が復興を支援しますが、中規模以下の災害では被災者支援も自治体任せ。2018年の台風21号もそうでした。では堺市の支援はいかほどか？住宅が全壊し5万円、半壊で3万円。それでは少なすぎる！大幅増額を要望しました。色よい返事はまだ得られていませんが、いつの日かの災害に備え、粘り強く求め続けます。



遅すぎたパワハラ調査

上司のパワハラで休職に追い込まれたのに、人事評価が低いのは納得いかない。そんな職員の訴えを、単なる「人事評価への苦情」として扱い、パワハラ調査にすぐに着手しなかった上下水道局。結局調査開始は訴えの8か月後。その間に被害が拡大した可能性も。対応のまずさを厳しく指摘し、当局は反省を表明。職員が気持ちよく働ける職場でない、市民サービスはよくなりません！

